



第45号

港北区スポーツ推進委員  
連絡協議会広報紙

# 活き生き体指

KOHOKU

平成24年 11月30日発行  
 発行者 港北区スポーツ推進委員連絡協議会  
 編集 港北区スポーツ推進委員広報委員会  
 事務局 横浜市港北区大豆戸町26-1  
 横浜市港北区役所地域振興課内  
 ☎ 045-540-2240  
 FAX 045-540-2245

## 第17回 港北区ペタンク大会

### 大倉山ハイムA (太尾地区代表) 港北区ペタンク大会史上初の2連覇達成!!

平成24年9月9日(日)鶴見川樽町公園多目的広場にて、第17回港北区ペタンク大会が開催されました。雨のため9月2日(日)から延期しての開催でしたが、9日は打って変わっての雲ひとつない晴天。真夏のような暑さの中、67チーム(201人)の選手の皆さんが、熱闘を繰り広げました。

#### 第17回港北区ペタンク大会

第17回ペタンク大会は当初の予定した9月2日は雨天順延となり9月9日鶴見川樽町公園にて開催されました。参加チームは67チームでした。今年の大倉山ハイムAチームは太尾地区予選会で1位通過しましたが、Bチームは4位となり港北大大会参加には至りませんでした。

港北大大会当日は早朝練習で投球の感触を確かめ参戦しました。当日の樽町公園のグラウンド状況は朝練とは大違いのコンディションでした。本戦の予選成績は1勝1敗1不戦勝と辛くも得失点差で1位通過となりました。ここまでは運、口撃(コウゲキ)技、頭で勝ち進んできました。決勝トーナメントでは徐々に調子が上向きになってきました。しかし決勝戦では苦戦を強いられ、途中まで4点差をつけられてしまいました。そこにペタンクの神様が突然現れ、我がチームに相手チームから4点のプレゼントが舞い降りました。最終メースで1点を争うゲームになり

太尾地区 大倉山ハイムAチーム 須山 孝行

逆転優勝となりました。その結果大会初の2連覇を達成しました。今年の大会は2連覇を目指し臨みましたが、各ゲームとも楽勝パターンではなく、くじ運、ゲーム運にも恵まれた勝利でした。勝負は時の運と申しますが、決して技術だけの勝負ではありません。特にペタンクは対戦相手の投球いかんで、大きく局面が変わってしまいます。

また、メンバーにも恵まれた勝利でした。来年はV3を目指していきたいと思います。スポーツ推進委員の方々のご協力に感謝いたします。

～大会結果～

順位	チーム名	地区
優勝	大倉山ハイムA	太尾地区
準優勝	新吉田町会C	新吉田地区 (一般参加)
第3位	城郷B	城郷地区
第4位	樽町第3親和会	樽町地区



優勝を目指して



念願の2連覇達成!

## スポーツ推進委員全員研修会

### 救急講習に参加して

最近には駅にもAEDが設置されており、スポーツイベント等ではAED準備が必須となっているので、日常生活の中で「操作出来る人が求められる機会」が増えているのだと思います。

そういう事で、「AED等の操作が出来た方が良いな。」とは感じていましたが、積極的に講習会を探すほどの行動力は有りませんでした。

今回、スポーツ推進委員に対する「救急講習」があると聞き、丁度良い機会と思い参加しました。



胸骨圧迫とAED

菊名地区スポーツ推進委員連絡協議会 橋本 敏

以前からおぼれた人の救命では3分以内なら殆ど助かるが、それを超えると急激に蘇生率が下がっていくという事は知っていました。しかし、救急車の到達に全国平均8分かかるといふ事なので、それまでに何が出来たのかが生死の分かれ目になるという意味が良く分かりました。



消防署職員による説明

説明は、人形が有り、AED現物が準備されていたので非常に分かり易かったです。

しかし、講習会で聞いた時は、概ね理解記憶したと思っておりましたが、半年も経たないのに、この原稿を書いている今、既に少し記憶が薄れています。

半年に一回位は、その時配布された資料を読み直すというようなフォローが必要なのだと感じました。

## 横浜北部4区交流会

### 横浜北部4区交流会に参加して

7月1日(日)JA横浜都筑グラウンドにて横浜北部4区スポーツ推進委員交流会が行われました。グラウンドゴルフの腕前を競い合いながら親睦を深めるこの会も3回目を迎え恒例行事となりつつあります。



ポストを見据えて

お天気を気にしながらの開催となりましたが、始めてみれば一打一打にハイタッチありズッコケありであちこちから歓声上がり、気が付けば雲も吹き飛んでいました。

日頃は裏方としてかわることが多いグラウンドゴルフですがこの日ばかりは自分のプレーに専念でき、

篠原地区スポーツ推進委員連絡協議会 中村 美保子

自分の実力も再認識することとなりました。

2ラウンド終了後はシートの上でお弁当をいただきながら和気あいあいと地域の活動などの情報交換をしました。

そして成績発表では上位のスコアに感嘆の拍手と尊敬のまなざしが送られそれが賞品となりました。

最後に全員に赤、黄、緑、紫と、まるでグラウンドゴルフの球のような色とりどりの新鮮野菜を袋いっぱい配られて、笑顔のうちに終了しました。

初対面の人がほとんどの中でも声を掛け合い楽しく過ごせるスポーツの力を改めて感じ、この思いを多くの人たちに伝えられるよう活動していきたいと思えます。



スポーツ推進委員の仲間とともに

## 小学生スポーツフェスティバル

### 小学生スポーツフェスティバル

7月22日港北スポーツセンターで、小学生スポーツフェスティバルが開催されました。

館内3つの体育館で様々なスポーツの体験コーナーが用意され、各会場で子どもたちの元気な声が響いていました。

第1体育館では、バタック、ユニホック、フットサル、グラウンドゴルフの体験、第2体育館では、バレーボール、バドミントン、野球教室、第3体育館では、カンフー、卓球、器械体操教室が行われました。

バレーボール体験コーナーでは、トップリーグ NEC



スポーツ推進委員の説明を真剣に聞く様子

新吉田地区スポーツ推進委員連絡協議会 岩間 秀次

女子選手の指導が受けられるとあって、ひとときわ多くの子どもたちを集めていました。

私の担当したフットサルでは、サッカー経験者から未経験者、高学年から低学年まで多くの子どもたちが楽しそうにボールを追いかけていました。時折勢い余ってボールを顔に受けてしまう場面もありましたが、大人の心配をよそに次の試合にはコートを走り回り元気な姿を見せていました。

子どもたちの元気な姿を見て、スポーツの楽しさを再認識した一日でした。



憧れのプロバレーボール選手と (JVL承認ECW-2012-001)

## 2012 ふるさと港北ふれあいまつり

### 2012 ふるさと港北ふれあいまつり

10月20日、新横浜駅前公園にて、ふるさと港北ふれあいまつりが開催されました。当日は天候にも恵まれ、多くの人で賑わいました。会場には町会、行政、ボランティア団体による80を超えるブースが並び、ステージではサッカーのチアリーダーイングをはじめ、キャラクターショー、地元の愛好団体による舞踊、太鼓、お囃子など9つの演目が披露されました。アンパンマンショーでは、ステージの横まで人がいっぱいになりました。太鼓ばやしでは、大人、中学生、小学生ともに見事なパチさばきで、日頃どれだけ練習しているのかと思わせる程でした。お囃子では、高齢者と子どもが一緒に演技をし、伝統芸能が敬称されていく姿を見ました。よさこい踊りでは、若い人の躍動感あふれる勇壮な踊りを見ることができました。各ブースでのPR活動も盛んでした。鶴見川に生息する生き物を紹介するブースでは、子ども達がザリガニを直に掴んでいました。グラウンドゴルフとバタックのコーナーにも多くの人を訪れていました。今回、改めて地域の力を感ずることができました。

網島地区スポーツ推進委員 大谷 幸弘

そして様々な職域、活動での真摯な取り組みを知ることができました。これからも、この催しが、地域の活力の証として継続することを願っています。主催者、協力団体、参加者の皆様には敬意を表し感謝を申し上げる次第です。



スポーツ推進委員ブースも好評でした!

# 健 民 祭

## 高田地区大運動会

10月7日(日)大運動会が高田中学校校庭で開催されました。前日準備でライン引き、テント設営など準備万端、さあ明日は本番だと張り切っていたのですが、当日は朝から雨でした。これは明日に延期になるのかなあと思いながらも会場に行ってみると、宮田会長が「大丈夫だ、絶対雨はあがる」と言いながら準備を始めていました。みんな半信半疑で準備をして何とか30分遅れの9時30分に開会式。しかし、参加者は例年の半数くらいでした。競技が進むうちに雨で中断したり、あるいはせっかく準備していた競技を中止して、ようやく昼食までたどり着きました。もうこの時は参



## 高田地区スポーツ推進委員連絡協議会 五明 弘子

加している子ども達が風邪をひかないか心配する程雨に濡れて寒くなっていました。昼食後は雨もあがり太陽も顔を出すと、全員元気が出て午前中の不完全燃焼を吹き飛ばす勢いで、大盛況のつなひきで締める事が出来ました。

参加者が少なかったのは残念でしたが、その分一人ひとりの顔がわかって、コミュニティとしての運動会の役割を十分果たしていると感じました。

「高田地区の『絆』は大丈夫だ。この中の一員でいられて良かった」と、つくづく感じた一日でした。



## 秋の運動会を終えて

10月7日第22回あすなろ地区ふれあい運動会が新田中学校グラウンドにて盛大に開催されました。天気予報に反して前夜からの雨が止まず、開会時間を1時間繰り下げて開始しました。大会運営スタッフも含め500名以上の参加者がいたのではないのでしょうか。しかし、恒例の鈴割りが終わり、ボール送り競技が終わるとにわか雨足が強くなり、やむなく体育館へ会場を移して競技続行となりました。参加者・運営スタッフの適切な対応によって非常に短時間で館内での競技が開始出来ました。当然屋内に適さない幾つかの競技は出来ませんでしたが、運営は概ね上手に運んだと思います。昼食の間、新吉田中学校吹奏楽部の演奏と新田ソーランが披露され非常に好評でした。

男女ブロック別対抗リレーを残して午後の競技を屋

## あすなろ地区スポーツ推進委員連絡協議会 菅原 信

内で行い、天気が回復したため、例年最も盛り上がるリレーはグラウンドに戻って競われました。スポーツ推進委員の長い活動の中でも屋外→屋内→屋外と競技場を移して行われたことはないでしょう。しかし、大きな混乱もなく無事に運動会を終了することが出来ました。優勝チームは白組(新和会)で12年ぶりの杯獲得となりました。

今年のふれあい運動会の成功には、地域の皆さんの積極的参加に加え新田中学校の教職員及び生徒の皆さんのご協力が非常に大きかったと思います。連合会からお願いしていた15名の生徒ボランティアに対し30名もの生徒さんが応募し、協力いただきました。運営に携わった者の一人として心より感謝します。

